

白布ヶ丘だより

2月

発行 栃木県立真岡高等学校

…学校と家庭・地域の架け橋…

〒321-4331 栃木県真岡市白布ヶ丘24番地1

TEL 0285-82-3413 FAX 0285-82-2913

1 学年主任より

第1学年主任 五十畑将義

高校時代の担任の先生から『聞く』と『聴く』の違いについてという話を聞いたことがある。『聞く』とは、自然に耳に入ってくる音を聞いている状態で、鳥の声や外を走る車の音、空を飛ぶ飛行機の音、ストーブの作動している音などを聞いていること。『聴く』とはしっかりと耳を傾けて一言一句を聴き漏らさないようにすること。それぞれの漢字を見比べてみると聴くの方が耳が大きいだろう。」といった話であった。今、パソコンでこの文章を入力しているが、『きく』という言葉を変換しようとすると同音異義語情報が出てくる。それによると『聞く』とは「耳で音や声を感じとる。たずねる。従う。においをかぐ。」「聴く』とは「耳を傾け、注意して聞き取る。」とあるので、あの時の担任の先生の説明は正しかったと言っていであらう。日本語だけでなく、英語でもhearとlistenの違いがある。

さて、真岡高校では身につけさせたい8つの力のひとつとして『傾聴力』を定めている。生徒のみんなは担任や授業担当の先生、集会・講演会の時にどちらで話を『きいて』いるだろうか。鳥の声や車の音のような雑踏の音と同じように話を聞き流していないだろうか。この2つの『きく』の違いは意識の問題で、同じ話を『きいて』も、意識の違いによって得られる物が大きく異なることは明らかであろう。

さらに「言うことをきく」。つまり、従うという意味の『きく』についても考えてみると、みんなはきちんと先生方の言うことに従っているだろうか。もちろん言われたことに何の疑いも持たず、ただ従順に従えということではない。ただ、最初から聞く耳を持たない状態の人はいないだろうか。それでは携帯の着信拒否・メールの受信拒否と同じ状態になってしまう。最初から拒否をしてしまったら、その話が大切なものかどうか判断できなくなってしまう。一度話をしっかりと聴き、まずは言われた通りにやってみて、その上でどうするかを判断するべきではないか。学校ではホームルームの連絡も授業も、全て聴くことが中心である。話を聴かなかつたら何もわからなくなってしまう。しっかりと話を聴いてその内容をきちんと自分の中に取り込んで欲しい。生徒全員が真高生として傾聴力を身につけてくれることを期待している。

昔話のついでに学生時代を思い出してみると、昔はラジオや電話があり、話や音楽を聴く場面が多かった。親と車で旅行をしていて、ラジオから聞こえてくる話や知らない音楽に興味をそそられたり、親が聴いていた音楽から洋楽や普段聴かないアーティストの曲を聴くようになったりしたものである。一方現在は、ラジオを聴く人も減り、イヤホンから聞こえてくるのは自分で選んだ曲ばかりで、趣味の世界を広げる機会が減っている。電話ではなく文字だけでやり

とりをしているため、電話で話を聴きながらメモを取るといった機会も少なくなっている。聴く場面が減ったことで聴く力も衰え、失われたものは多いのではないだろうか。昔は良かったというつもりは無いが、便利であれば全て良しとも言えないのではないかと考えてしまう。みなさんはどう思いますか。

2 学年主任より

第2学年主任 豊田 洋子

真岡高校に勤務して早十年。共学から男子校への転勤と言うことで、正直、男子高校生に一抹の恐れを抱き赴任したことを覚えています。しかし、接した真岡高校生はみな初々しいまでに素直で親しみやすく、すぐに恐い男子高生のイメージは消滅しました。それから、十年、真岡高校生の良さは変わりありません。まあ、一部だらしなさが見受けられますが、おおかたは品位が保たれていると感じます。品位とは、良識が身につけていることであり、育ちの良さと言ひ換えられるものです。そして、高校生活を通して至誠の精神を学び健やかに若者へと成長していくというのが、真岡高校生であると思います。実際、ほとんどの生徒が「成長したな」と感じさせて卒業していきます。特に進路実現という最大の山場を共にした時の生徒の頑張った姿が、すぐ思い出されます。たゆまぬ努力で第一希望の大学に合格した者はもちろん、一年次は不調でも二年の後半からコツコツ取り組み三年の夏過ぎに伸びてきた者、部活動との両立のために休み時間も有効に活用して英単語など必死に覚えていた者、センターの結果が不調で悔し涙を流している者など、思い出すまに記すときがありません。このような卒業生の例を生かしたく、在校生には進路資料の合格体験記を読ませたり、受験生の最も多い反省、「一年二年の時にもっと勉強しておけばよかった」という言葉を伝えています。

また、他にも勤務が長くなると、「真高にはこんな先輩がいました。」「こんなことがありました。」的な語りをしてしまっていることに気づきます。学校行事や日々の高校生活の時々で、ついつい卒業生の言動が思い出され、目の前の生徒に、「そうすると、こうなるよ。」と、結論めいたことを先に口走ってしまうことも多々。既知ゆえに、ついつい昔語りをしたくなるのです。しかし、こうなってくると、まずいのです。先に述べたような進路実現のための助言ならまだしも（いや、もしかするとそれも含めて）、このパターン（経験済みの人の、「こうなるよ」的な語り）は正直あまり効果がない、というか、聞いていない、のです。「そうすると、こうなるよ。」「こうしなければ、こうなるよ。」という言説は、どうも、言っている側の義務達成感、満足感に対して、聞いている側の享受度が比例していないのです。

しかし、それもある面、むべなるかな（もつ

ともな事だ。今、自分がやるべきことをやってみるから面白いのだから。2学年は総合的な学習の時間で「テーマ研究」に取り組みましたが、レポートを仕上げた面白さ、達成感は、自分でやったものだからこそです。だから、長年の真岡高校勤務で言うのは、「**真高生はやる。**」この言葉だけでいいのかもしれませんが。2学年諸君、「君たちはやる。」学習、部活動、学校行事、家庭での私生活の面、すべての場面で、自分がやるべきだと判断した、そのことを是非ともどんどん実行して見せて欲しいです。

関東甲信越地区ソロコンテスト 出場決定

2月9日(日)に真岡市民会館で行われたJBA栃木県管打楽器ソロコンテスト高校生部門で、吹奏楽部の塚田晏澄君(1年)が最優秀グランプリ、下野新聞社賞、審査員(田中正俊)賞を、田中愛大君(1年)が優秀賞を、菱沼優樹君(1年)がBest・Duet賞(伴奏)を獲得しました。塚田君は、本県代表者として下記の大会でクラリネットを演奏します。2月14日(金)に校内放送による壮行会を実施し、塚田君を激励しました。

◎関東甲信越地区 第18回 中学生・高校生
管打楽器ソロコンテスト
期日 2月23日(日)
会場 東京都立川市 国立音楽大学

テーマ研究全体発表会



2月14日(金)に第2学年テーマ研究の全体発表会を創立120周年事業でエアコンが設置された記念館2階講堂において実施しました。船越学習指導部長がテーマ研究の趣旨説明を行った後、第2学年の代表生徒が、第6時限には第2学年全員を対象に、第7時限には第1学年全員を対象に発表しました。テーマ研究は、課題・探究学習の一環として今年度から始まったものです。本校の2年生全員が1年間をかけて研究に取り組み、それぞれが領域別発表会で発表しました。今回の全体発表会では、この領域別発表会で選抜された代表者4名(今野翼君、手水翼君、宮田裕介君、横倉淳也君)に発表してもらいました。自分で実験を行ったり、小中学校の先生方にアンケートをお願いしたり、単なる文献の引用ではなく、生徒の活動が伴った研究となっており、それぞれがすばらしい研究になっていました。また、県のスタディフロンティア事業で整備されたプロジェクター等の機

器を利用したわかりやすい発表にもなっていました。保護者、近隣の高校の先生方にも御来校いただきました。ありがとうございました。

第4回PTA理事会

2月7日(金)に本校会議室において第4回PTA理事会が開催されました。議事は、大学視察研修の報告、令和元年度PTA事業報告・会計決算見込み、令和2年度PTA関係事業計画(案)・PTA支部役員(案)、令和元年度文武両道奨励賞についてでした。また、創立120周年記念事業・決算について報告がありました。理事の皆様、お忙しい中、御出席いただきありがとうございます。なお、令和2年度のPTA総会・学年部会は4月23日(木)を予定しています。よろしくお願いします。



2月～3月の行事予定

2月

- 17日(月) 学年末テスト(～20日)
- 21日(金) 奉仕活動(1年)
進路集会(2年)
第2回学校評議員会
- 22日(土) 土曜開放
- 26日(水) スクールカウンセラー来校日
- 27日(木) 卒業式場作成・大掃除(5限～)
- 28日(金) 卒業式予行・同窓会入会式
「白布ヶ丘PTA通信」発行

3月

- 2日(月) 卒業式
- 4日(水) 午前中授業
午後学力検査場準備
ライトダウンデー
- 5日(木) 一般選抜
生徒登校禁止(部活動なし)
- 6日(金) 生徒休業
- 9日(月) 生徒休業
- 10日(火) 生徒登校禁止(部活動なし)
- 11日(水) 合格者発表
1年学修状況発表会(～19日)
- 13日(金) 合格体験発表会
- 14日(土) スタディサポート(1年)
土曜開放
- 17日(火) 生徒登校禁止(部活動なし)
(定時制入試)
- 19日(木) 教科書販売
海外研修説明会
- 24日(火) 修業式・大掃除
- 25日(水) 新入生オリエンテーション